

知るほど
納得!

枚方市の産業ガイドブック

ひらかた

にぎわいの枚方

人・モノが集まり、
新しいコトが始まるまち。

京都

枚方

大阪

行くも帰るも、アクセス良好。
大阪と京都のどまんなか。

京都と大阪をつなぐ歴史街道は、ビジネス街道へ

枚方市は、昭和22年8月1日に大阪府内12番目の市として誕生しました。当初4万人だった人口は約40万人の府内4番目の人口規模に成長し、平成26年には中核市となりました。大阪府の北東部、大阪市と京都市の間に位置し、市内には京阪電車、JR学研都市線の2つの鉄道が通り、南北方向には、国道1号、170号、東西方向には、国道307号があり、平成22年には第二京阪道路の開通、そして、令和6年には新名神高速道路の開通が予定されるなど、全国的高速道路と直結する優れた立地条件に恵まれています。利便性を活かして市内商工業は発展し、7つの企業団地の集積や市街地にいくつもの商店街が形成されています。また、くずはモールや枚方T-SITEといったまちの名前を冠にした全国屈指の生活提案型ショッピングセンターが誕生し、令和6年には枚方市駅直結となる商業、オフィス、ホテル、住宅、行政等の機能を備えた複合施設も開業する予定で、週末には市民だけでなく近隣都市からの買い物客でにぎわいを見せています。

地図凡例

- 高速自動車国道
- 阪神高速道路
- 一般有料道路
- 一般国道

※破線は工事中または計画中

枚方市までの所要時間

- 1 京都駅から
電車で約**30分**
- 2 大阪国際空港(伊丹空港)から
車で約**40分**
- 3 大阪駅から
電車で約**30分**
- 4 関西国際空港から
車で約**70分**



枚方市の概要

人口…399,013人
(令和3年2月末日時点)

世帯数…182,246世帯
(令和3年2月末日時点)

面積…65.12平方km

市の鳥…カワセミ

市の花…桜・菊

市の木…柳

枚方市市章

枚方市

拡大図



地の利を活かして、発展。多彩な産業が 躍動!

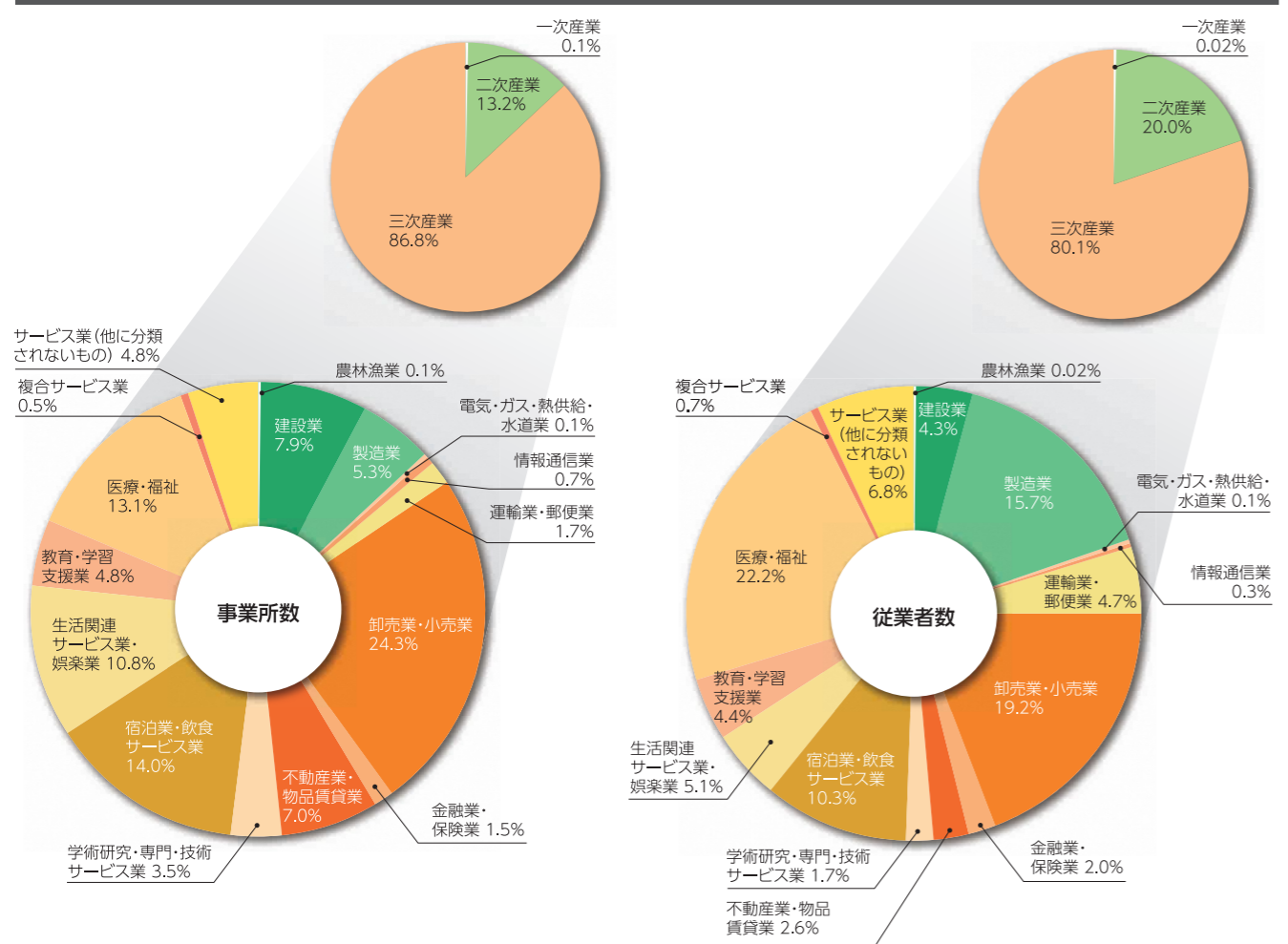
古くから淀川の水運に恵まれた枚方は宿場町として、また舟運の中継地としてにぎわいをみせ、その後、明治43年の京阪電車開通により郊外型住宅地として発展しました。昭和30年代には東洋一と言われた香里団地の建設をはじめ、大阪のベッドタウンとして昭和40年代、50年代にかけて人口が急増し、枚方市駅周辺等の再開発による駅前のにぎわい拠点の形成、企業団地の建設などを経て、中小企業を中心に、産業活動も盛んなまちとして発展しています。

また、市内には、医療系大学を含む5つの大学、5つの公的病院を含む多くの医療機関や福祉施設も有する、充実した教育・医療・福祉環境とともに、市民の活発な文化活動や豊かな自然、歴史遺産も併せ持つ、平和と文化の希望あふれるまちとして発展しています。



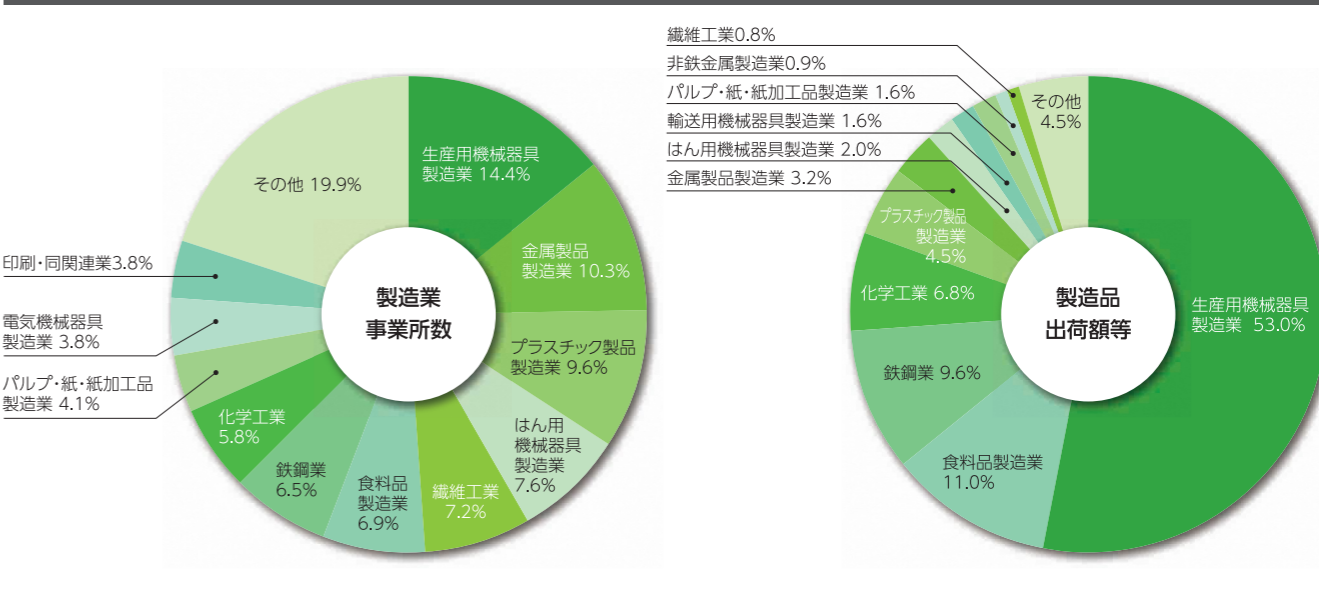
産業全体の規模 枚方市統計書 (令和元年度版) から引用

■ 事業所数 10,074 事業所 ■ 従業者数 120,556 人 (民営事業所)



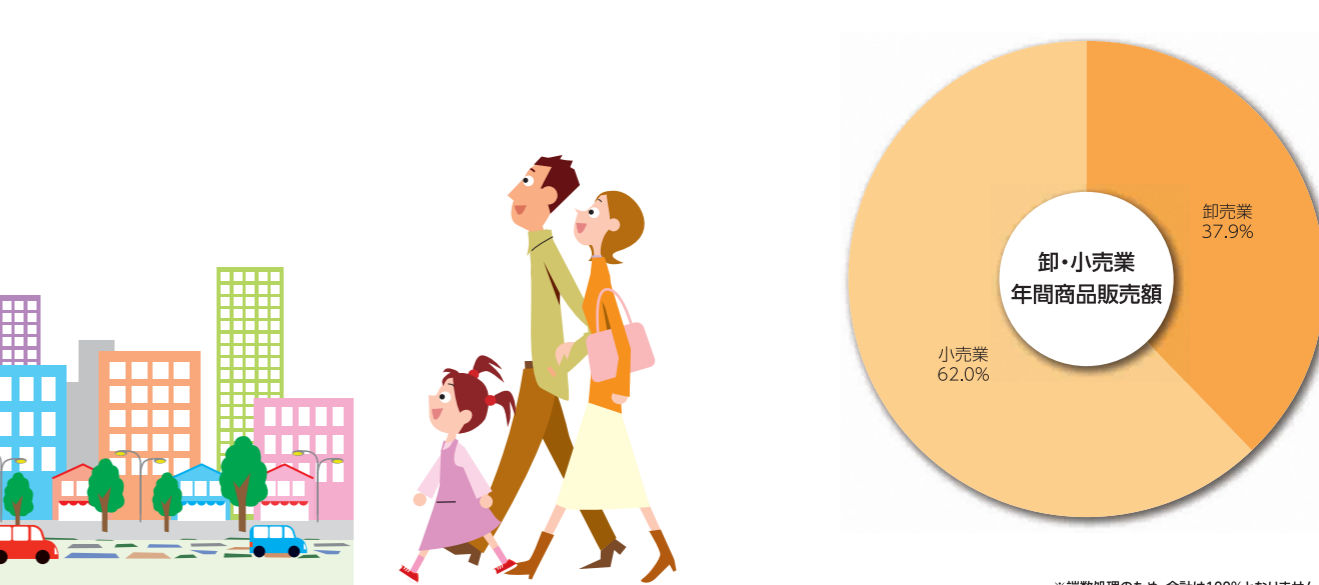
モノづくり 工業 枚方市統計書 (令和元年度版) から引用

■ 事業所数 291 事業所 ■ 従業者数 18,229 人 ■ 製造品出荷額等 8016 億 5383 万円



魅力づくり 商業 枚方市統計書 (令和元年度版) から引用

■ 事業所数 2,445 事業所 ■ 従業者数 23,095 人 ■ 年間商品販売額 5440 億 0031 万円



※端数処理のため、合計は100%となりません。

人がつなく、場所がつなく、笑顔をつなぐ

江戸から京への東海道、そして大坂へとつなく京街道は人やモノが行きかう江戸時代の大動脈でした。枚方宿は京と大坂のちょうど中間点にあり、西国大名や幕府の役人などの通行に伴う人馬継立や宿泊などでにぎわいました。

歴史的背景と同じく、京街道を中心に戦後から多くの商店が設けられ、枚方がベッドタウン化すると共に市域全域に商店街が形成されました。

一方で主要駅には、くずはモールや枚方T-SITE、枚方市駅周辺の再整備による複合施設の計画など、交流人口の増加が期待できる商業施設の立地が進み、多種多様な事業者が市の魅力を作りだしています。



くずはモール



枚方市駅
ひらかた もより市



枚方T-SITE



逆境を力に。 明かりを灯す地域の力。

2020年から世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症。人々の生活や産業に大きな影響を与えた災禍に立ち向かうため、市内の各商店街では「GoTo商店街」事業として、イルミネーションや商店街独自のポイントカード事業、写真展など趣向を凝らした様々な取り組みが立ち上げられました。



宮之阪中央商店街

ふれあいスマイルカード

ポイントが貯まる! 使える! ポイントカード!!

お買物なら100円で1ポイント貯まる!

このステッカーが自印!!

- 宮之阪中央商店街のふれあいスマイルカード加盟店でお買物すると100円(税込)で1ポイント貯まります
- 貯まったポイントは宮之阪中央商店街のふれあいスマイルカード加盟店で1ポイント1円でご利用できます
- 貯まったポイントは宮之阪中央商店街のイベント(抽選会など)でご利用できます

【お問合せ】宮之阪中央商店街ポイント事務局 大田区宮之阪2-18-2 0375-648-4266 受付時間 10:00-17:00(月・水・金)

〒158-8501 東京都大田区宮之阪2-18-2

宮之阪中央商店街 ふれあいスマイルカード 登録申込書

申込日 年 月 日 カードNo. 5

フリガナ

お名前 (男・女) 生年月日 S・H・R 年 月 日

ご住所

※ご住所の記入は必ずおこなってください。 枚方市役所 事務局



飛び出せ、ものづくり! 枚方から全国へ、そして世界へ

明治後期に工業化の第一歩を踏み出した枚方は繊維工業を中心に発展しましたが、その後、様々な変遷を経ながら、昭和30年代に入り新国道1号(現在の国道1号)の完成による多様な中小企業団地の形成が始まり、大きく変貌を遂げました。大阪紳士服団地・枚方企業団地・枚方家具団地・枚方鉄工塗装団地・枚方東部企業団地・枚方工業団地の6つの企業団地が造られ、平成20年に7つ目の企業団地として津田サイエンスヒルズが加わりました。これら企業団地をはじめ、市内には多くのものづくり企業が操業しており、大阪府のものづくり優良企業賞受賞企業も多数輩出しています。国道1号、国道307号、第二京阪道路、そして令和6年には新名神高速道路が開通予定であり、交通網が発達したアクセス良好な立地環境に恵まれています。



優れた技術を誇る 枚方七企業団地

1 枚方家具団地

「すてきな家具に出逢う街」をキャッチフレーズに、通りには家具販売店舗が並んでおり、家具を取り扱う企業が集積しています。



2 枚方企業団地

昭和37年に大阪府が初めて造成分譲した企業団地で、オンリーワンを目指すものづくり企業や交通の利便性を活かした流通業などが集積しています。



3 枚方鉄工塗装団地

鉄工と塗装を中心とする関連企業が集積しています。団地設立以来、環境への取り組み意識が高く、公害のない工業団地を目指しています。



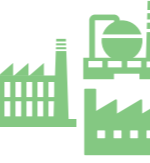
4 大阪紳士服団地

紳士服製造企業が一致協力して生産性と技術の向上を図り、高度化に対応することを目的として発足し、高級紳士服の生産拠点として、また近年では物流拠点として企業が集積しています。



5 枚方東部企業団地

産業公害や種々の問題を解決するために工場の適地を求めて企業が集結。ものづくり企業を中心に様々な業種による企業団地が形成されています。



6 枚方工業団地

昭和45年、公害のない工業団地を目指す企業が集積。化学工業、紙加工業、鉄鋼関連、印刷関連等、多岐にわたる業種の企業が集積しています。



7 津田サイエンスヒルズ

自然豊かな丘陵地に研究・製品開発を主としたものづくり企業や先端技術の研究施設をはじめ、高等技術専門学校といった職業訓練校などの教育施設が集積しています。



ものづくりを支える未来の育成 市内企業若者雇用推進事業

市内ものづくり産業の活性化に向け、市内中小企業の人材確保及び若年求職者を中心とした安定雇用を目的に、求職前段階から就職、さらに就職後の定着までを一貫して支援しています。



若年求職者へ企業のリアルな魅力を伝える 市内企業見学バスツアー

求職者が直接企業を訪問し見学することで、仕事内容や職場環境の理解を深め、就職マッチングに繋げるバスツアーを開催しています。



若手人材と出会う 合同企業説明会・面接会

市内中小企業と若年求職者をマッチングする合同企業説明会・面接会を開催しています。より多くの求職者と出会えるよう事前に動画や冊子を作成し参加企業をPRします。



応援します! 頑張る「企業」、翔び立つ「起業」。



地域活性化支援センター



きらら創業実践塾

※マネジメントゲームMGRの著作権をはじめとする一切の知的財産権はマネジメント・カレッジ株式会社が保有します。



経営相談



インキュベートルーム



セミナー



ビジネスカフェ

創業・経営支援の拠点「地域活性化支援センター」

地域活性化支援センターでは、市内事業者や創業希望者等に対して、経営の高度化、競争力の強化に向けた支援をはじめ、新たな事業の創出に向けた各種セミナー、講演会の開催など様々な支援を行っています。また、販売会や研修などにも利用可能なセミナー室、200名収容可能なたまゆらイベントホールなどの貸室を行っています。

枚方市立地域活性化支援センター概要

新たな事業の創出を支援するとともに地域産業の育成及び振興を図るため、平成17年4月に開設しました。

業務内容

- 1 新たな事業の創出を担う人材及び組織の育成支援
- 2 起業その他事業経営に関する相談並びに情報収集及び提供
- 3 情報技術の活用による市内事業者の経営の高度化支援
- 4 市内事業者への雇用の支援
- 5 事業者・大学等の教育機関及び行政機関の協働による新たな産業の創出促進
- 6 新たな事業の創出に係る研究開発及び事業経営に係る研修等のための施設等の供与

豊富な創業支援メニューや専門スタッフによる経営相談・創業相談を実施。各種セミナーや会議に利用できる貸会議室も完備。

創業支援

新しい発想やアイデアで起業しようとする人、新事業分野進出や地域の課題解決をビジネスで挑戦しようとする人に対して、事業計画の立て方や、資金調達、販路開拓など、様々なアドバイスをを行います。

1. ひらかたビジネスカフェ

創業に興味ある方のためのカフェ形式の交流会。創業を志す人や、すでに創業した人、地元の事業経営者が集い気軽に意見交換できる場です。

3. インキュベートルーム(12室)

創業希望者に向けた低額の貸事務所(入居には選考あり)。専門家による経営相談や経営診断、市内事業者や創業実践塾生との交流会など、ソフト面も支援します。

2. きらら創業実践塾

ビジネスプランの作成から開業に至るまでを総合的に支援。財務・経営・販路開拓など創業のノウハウを延べ100時間の講座・セミナー・体験学習で1年間かけて学びます。

4. テイクオフ補助金

インキュベートルームを1年以上使用後、市内で創業する場合に事務所や店舗の家賃の2分の1(上限月額5万円)を1年間補助します。

各種技術、経営相談

実務経験豊かな企業OB等が各分野の専門家として、経営革新、人材育成、環境問題、品質管理、ITの導入・活用などといった経営の様々な課題を解決するためのアドバイスをを行います。

講演会・セミナーの開催

創業や事業経営に役立つセミナーや、まちおこし・地域ブランドに関する著名な講師を招いて講演会等も行っています。

貸会議室

少人数の講演会やセミナーなどに対応できる貸会議室をはじめ、プロジェクターと大スクリーンを備えた200名収容できるたまゆらイベントホール(大研修室)、インターネットの利用をはじめ貸出用パソコンを使用することができるパソコン研修室など、全12室を用意しています。

ものづくり企業支援総合サイト

自慢の技術や製品のPR、各種補助金の情報発信など、枚方市内の企業を支援するための総合的なデータベースサイト。枚方市内の企業情報を確認するならばココから!

URL: <http://www.waza-kirara.jp/>



地域活性化支援センター

所在地: 枚方市車塚1丁目1-1
 輝きプラザきらら 5階・6階・7階
 電話: 050-7105-8080
 FAX: 072-851-5384
 E-mail: shien-center@city.hirakata.osaka.jp
 URL: <http://www.hirakata-kassei.jp/>



創業機能を集結し創業者を支援する 枚方創業支援ネットワーク

枚方市は、国の産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の認定を受けています。「枚方市立地域活性化支援センター」を中核として、「枚方市」「北大阪商工会議所」「枚方信用金庫」「日本政策金融公庫」の連携により、各分野の専門スタッフによる相談、創業に係る各種事業展開、インキュベーション施設の提供や、金融機関による融資を中心とした支援等、関係機関のネットワークを活かして、創業者の発掘・育成、創業環境の整備、事業化における補助や融資、創業後のフォローまで総合的な支援を行っています。



地域経済活性化基金 —ふるさと寄附の活用—

枚方市では、市内事業者の経営基盤の強化及び安定を図る事業費に充てることを目的に平成20年度に「枚方市地域経済活性化基金」を創設しました。地域経済活性化基金は、市内で創業する事業者や住工共生のための環境対策に取り組む事業者への支援などに活用しています。

令和元年度より枚方市へのふるさと寄附に地域経済活性化基金を選択することができるようになりました。



- ### 活用事例
- ◆ 枚方市立地域活性化支援センターのインキュベートルームを使用した後、市内で創業する事業者のスタートアップ支援
 - ◆ 市内で開業や設備投資などのために資金調達を行った事業者への支援
 - ◆ 地域住民と良好な関係を築くため、環境対策を行う事業者への支援



枠組みを超えた連携で地域の活力を 向上

協力し合う地域の力が広げる未来の可能性! 産業振興につながる支援体制を整備。

「新たなビジネスを創造しよう」という事業者に対して、関係機関が一体となって支援しています。すべての産業振興の指針となる「枚方市産業振興基本条例」を平成22年に制定。

枚方市産業振興基本条例 (平成22年10月1日施行) (抜粋)

目的

第1条

この条例は、京阪奈の結節点としての潜在力を持つ枚方市における産業の振興が地域の経済及び社会の活性化に果たす役割の重要性を踏まえ、産業振興に関する基本的な事項を定めることにより、次代の産業を担い、支える人づくりを促進するとともに、産業の基盤の安定及び強化並びにその健全な発展を促進し、もって市民生活の向上に寄与することを目的とする。

ひらかた地域産業クラスター研究会

枚方には関西文化学術研究都市の一翼を担う津田サイエンスヒルズなど7つの企業団地をはじめとして、優れた研究開発力や加工・生産技術を持つ企業が数多く存在します。そうしたものづくり企業を中心に地域の大学・高専・研究機関・経済団体・金融機関などのネットワークを形成し、イノベーションや新産業が創出されるエキサイティングで魅力的な環境の整備に向けて、平成18年4月「ひらかた地域産業クラスター研究会」が発足。共同による技術開発などの取り組みが進められ、枚方のものづくりの重要な基盤の一つとなっています。

研究成果実例



スーパー魚やさん(吉泉産業株式会社)

ひらかた地域産業クラスター研究会の会員である大阪工業大学からの助言を得て、CCDカメラとコンピュータの画像処理を用いる方式を開発。従来、10%程度であった魚の切り身の重量誤差を、3~5%程度まで抑えられるようになりました。

当該製品は第22回「中小企業優秀新技術・新製品賞」優秀賞を受賞し、ひらかた地域産業クラスター研究会の会長である吉泉産業株式会社の代表取締役 佐々木啓益氏は、2012年文部科学省大臣賞、科学技術賞(技術部門)を受賞されています。

産学公の協働で取り組む 枚方産学公連携フォーラム

ものづくりを中心とした中小企業が、開発力や市場開拓など、より一層のイノベーション能力の向上を図るには、外部の経営資源の活用が不可欠です。

枚方市とひらかた地域産業クラスター研究会では、地元中小企業が中心となり産学公連携フォーラムを開催し、市内の各大学・高専など研究機関等と産学連携を図り、新産業・新技術の創出に向けた地域イノベーション創出拠点の形成を目指しています。





〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号 電話 072-841-1381 FAX. 072-841-1278
電子メール shokou@city.hirakata.osaka.jp